

研究・調査報告書

| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
|--|----------|-----------------|
| C-540 | 24-303 | 慶應義塾大学名誉教授 加藤眞三 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| Role of immune cell interactions in alcohol-associated liver diseases アルコール関連肝疾患における免疫細胞相互作用の役割 | | |
| 執筆者 | | |
| Xianda Wang ^{1,2,3} , Juan Wang ^{1,2,3} , Haodong Peng ^{1,4} , Li Zuo ^{1,5} , Hua Wang ^{1,2,3} | | |
| 掲載誌 | | |
| Liver Res. 2024 Jun 10;8(2):72-82. doi: 10.1016 | | |
| キーワード | PMID | |
| アルコール関連肝疾患 (ALD) ; 細胞間相互作用 ; 免疫細胞 ; 炎症。 | 39959875 | |
| 要 旨 | | |
| <p>炎症反応、肝損傷、および免疫調節に関する研究は、免疫細胞間の複雑な相互作用が重要な調節ネットワークを構成していることを示している。アルコール摂取は肝臓の微小環境を変化させ、炎症と免疫反応を引き起こす。リンパ球と骨髄系細胞間の抑制的、協調的、相乗的効果を解明することは、アルコール関連肝疾患 (ALD) の病態形成における中核的メカニズムを明らかにし、有望な治療標的を特定する可能性がある。本総説は、直接的な細胞間相互作用と多様なエフェクター分子の分泌を含む、免疫細胞間の複雑かつ多面的な相互作用を解明することを目的とする。これらの相互作用が、個々の免疫細胞タイプの活動よりも広範かつ複雑な役割を ALD において担っている点を強調することが重要である。これらの相互作用は、相互に調節し合うことで肝臓環境における炎症反応と免疫応答の恒常性維持に重要な役割を果たしている。これらの免疫細胞間相互作用を標的とすることは、ALD の予防と治療に対する新たなアプローチを提供することが期待される。</p> | | |